



はなまる通信

VOL. 34
2015年2月号

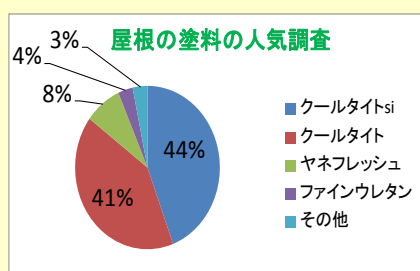
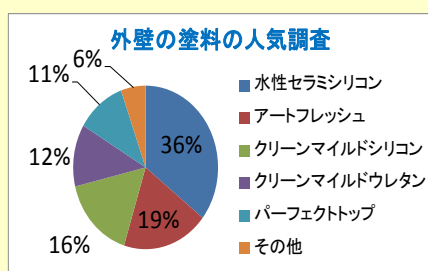
New

外壁&屋根の人気塗料、人気色を調査！



皆さま、こんにちは！ 2015年になり、はじめての「はなまる通信」です。
今年も皆さまに役立つ情報を沢山お届けいたしますので、本年も「花まるリフォーム」をどうぞよろしく
お願いいたします<(_)_>

今回は、昨年1年の間に弊社で施工させていただいたお家の「外壁&屋根の塗料と色」について調べてみました。
まず、**外壁&屋根の塗料についての集計**です！



塗料の人気NO.1は・・・



「花まるリフォーム」の昨年度の人気**外壁塗料**は、エスケー化研の「水性セラミシリコン」です！
次点は、エスケー化研の「アートフレッシュ」でした。

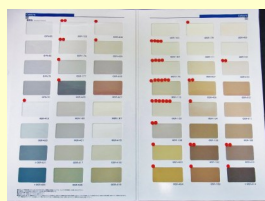
この2種類は、「艶あり」か「艶なし」かのお客様のお好みの結果と思われます。

屋根塗料につきましては、一番人気は、エスケー化研の「クールタイトsi」次いで「クールタイト」でした。
どちらも遮熱塗料で、この2種類は「シリコン系」と「ウレタン系」で価格が違ってきます。

続いて、**外壁&屋根の色についての集計**です！

こちらは、それぞれの塗料カタログから選ぶ以外に「日塗工」の色見本632色からも選ぶことができます。

外壁の人気色・第1位は、社長が独自の経験から最もベーシックで失敗のない色としておすすめしている「SR-113」とそれより若干薄いトーンの「SR-133」でした。



塗料カタログと色見本帳にシールや付箋を貼って、
人気の色を調査しました。

どちらもベージュ系です。第2位は、それよりもっと薄いベージュ「SR-175」と「SR-164」でした。

このようにやはり白～ベージュ系の中間色を選ばれるお客様が多い反面、濃い色では、茶・グレー・濃緑を選ばれるお客様もいらっしゃいました。

この場合、外壁のイメージがガラリと変わり、より新鮮な仕上がりになります。最近は、とても多くなりました。

また、ピンク系や黄色を選ばれた場合もありましたが、いずれも本当に素敵な仕上がりになって、プロから見てもお客様のセンスに脱帽するばかりです。

屋根の人気色・第1位は、社長が独自の経験から最も既存の屋根材(黒)に近い色としておすすめしている「SR-121」セピアブラウンが大多数でした。

他には、ココナッツブラウン・チェストナッツブラウン・ディープグリーンとこだわりの色を選ばれるお客様もいらっしゃいました。

屋根は外壁に比べると見える部分が少なく、屋根よりはむしろ外壁のアクセントカラーとなる帯板の色選びや最近多い1階と2階で2色に塗り分ける配色の方にお客様の関心もあるようです。

「花まるリフォーム」のホームページには、「施工例」に「ビフォー&アフター」の写真が掲載されています。

「外壁塗装」でステキに生まれ変わった沢山のお家の実例を、是非ご覧になってみてください。

もちろん、塗料や色についてのご相談は、お客様のご納得のいくまでじっくりとお付き合いいたしますので、
2015年も外壁・屋根塗装を楽しんでくださいね<(_)_>/

(A)

代表・高橋良一がおくる…【はじめての外壁塗装】

外壁塗装と同時に塗る「外壁・屋根」以外の部分について

外壁塗装をする場合には外壁だけでなく、その時に塗っておきたい場所が色々あります。屋根は勿論ですが、木部・鉄部など、実際は「アルミとガラス以外」はペンキを塗る場所だと言って良いくらい全ての場所は塗る事が出来ます。

そこで、今回は「外壁と屋根以外」で塗る部分についてまとめてみました。

①雨どい

今でもたまに、外壁塗装をした後で雨どいだけ塗っていない残念なお家を見かけることがありますが、「花まるリフォーム」では創業以来10年間、外壁塗装をして雨どいを塗らなかったお家はありません。（交換した場合は除きます）

雨どいの色は、外壁と同系色にして目立たせないようにする場合もありますが、どちらかと言えばアクセント色の一部として外壁より濃くし、家全体の額縁的にする場合が多いように思います。



外壁と同色の雨どい



雨どいをアクセント色に

②ヒサシ・出窓の屋根

今の建物は、比較的ヒサシを付けることが少なくなっているように感じますが、ヒサシは別名「霧除け」というように、雨水が直接窓部へ降りつけるのを防いでくれます。もちろん夏の日差しを遮るのでとても便利です。

また、最近ヒサシを付けていた腰窓にはサッシの出窓を付ける場合も多くなっているようです。

そのどちらも建物本体から出ている分、雨が当たりやすくなっているため、先端部分は雨水の巻き込みによる劣化が激しいです。屋根のトタン部分は塗装が必要ですが、まれに補修工事が必要なくらい悪くなっていることがあります。

外壁塗装のお見積り時にそんな劣化まで分かれば良いのですが、残念ながら難しい場合が多く、工事が始まってから分かる場合もあります。そんな時は早急に大工さん板金屋さんを手配して補修工事をします。



出窓の先端が破れている



ヒサシの先端が腐っていた

③戸袋/雨戸・シャッター/シャッターボックス

この部分はどちらも塗る場合と、片方だけ塗る場合があります。

戸袋とシャッターボックスは、いつでも風雨にさらされていますので、おおむね塗る方向になります。

雨戸本体とシャッター本体（引き出して閉める部分）は、日中は開けているので仕舞ってあり、出すのは夜や台風の時の多いものです。ですので、劣化もさほど進まず目に触れるのも暗くなった時なので塗らなくてよいのでは？という事もあります。この割合は約半々といったところでしょうか。またどちらもサッシと絡んだパーツですので、どこまで塗るの？といったご説明も必要ですね。枠の部分はアルミなので塗らず、トタンの部分のみ塗るようになります。

ちなみにアルミの部分は色が濃く残っていますが、トタンは焼けて白っぽくなっているのが見分けが付きま



戸袋と雨戸



シャッターボックス

④破風板・帯板・基礎水切り

外壁塗装をする時に一番分からないのは、この破風板（はふいた）です。

この屋根のヘリの部分は雨風の巻き込みにより傷みやすい部分です。そこに板を付けることで屋根や軒先を守る役割があります。

15年以上前の建物だとここが木製で、塗料のハガレが多く、5年毎に塗装をしたい部分でした。そういったメンテナンス上の煩雑さとコスト面から、最近の建物は材木が使われなくなり、破風板は石膏系の素材が使われるようになりました。

そんな材木製の破風板に、板金工事で鉄板を巻く工事を昨年承りました。このおかげで次回の外壁塗装までメンテナンスが不要になりました。



ビフォー



アフター



- ピンク色の部分…破風板（はふいた）
- オレンジ色の部分…帯板（おびいた）
- 水色の部分…基礎水切り（きそみずきり）

建物の1階と2階の外壁にぐると帯状の板が張ってあるお家も最近は多く見かけます。これは帯板（おびいた）外壁の継ぎ目を隠すために付けてあるものと、デザイン上のアクセントで付けられたものがあります。

まれに、外壁の角の部分の縦にもアクセント板が張られている素敵なお家もあります。

(※帯板は正式名称ではなく、分かりやすく花まるリフォームで付けた名称です。)

最後に、サイディング外壁に多いのですが、基礎と外壁の間にトタン板が2～3cmほど入っている場合があります。これが基礎水切り（きそみずきり）という部分で、外壁から入ってしまった雨水を外に排水する役割のためにあります。外壁と内部の壁の間には「透湿防水紙」というものが入っているので、外壁のヒビやサイディングの目地が切れても、その防水紙で一旦止まります。それが落ちて基礎水切りから出て来るように出来ているのです。

さて、今回の情報はお役に立ちましたでしょうか？今後も簡単すぎず難し過ぎない内容を探して書いていきますので、お楽しみに！（社）





「工事終了後の声を次の仕事に生かそうという
会社の気持ちに打たれました。」
世田谷区：W様

W様のお宅は、ハウスメーカーの2世帯住宅で、15年目の初めての外壁塗装でした。

最近、弊社ではハウスメーカーや2世帯住宅の工事も増えています。

「お客様の声」をいただく事で、今日の「花まるリフォーム」ができたと言っても過言ではありません。

そのくらい「お客様の声」は、ありがたい宝物です。

お客様と共に、今後もより良い会社を作り上げていきたいと思っています(*^_^*)



お客様の声をお聞かせ下さい。

この真摯な文面に驚きました。今日まで何回もさまざまな工務店や職人に会って来たが工事終了後に反省の声を聞きたいという店や人に会ったことはありません。そしてその声を次の仕事に生かそうという会社の気持ちにうなずきました。

見積り折大度丁寧で細かい点にまで十分説明を受け真面目に仕事に取り組む姿勢がわかり契約することに決めました。

また職人さんもチームワーク良く遠方より来て早朝から暗くなるまで一生懸命仕事に打ち込む姿を見て気持ちよく毎日を通しました。

寒い天候にも恵まれて日数も思った程かからずに仕上がり、ありがとうございました。

貴社の発展を祈っています。

2014年 11月

※掲載の際にはお名前を載せてもよいですか？ ☐ はい ☐ 名前はイニシャルにして欲しい

※市・区以降の町名・番地は見えても構いません

(住所) 〒

世田谷区

花まるリフォーム 〒157

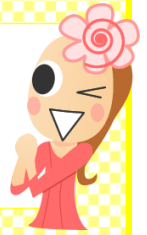


W様、本当にありがとうございました(*^_^*)
花まるリフォーム

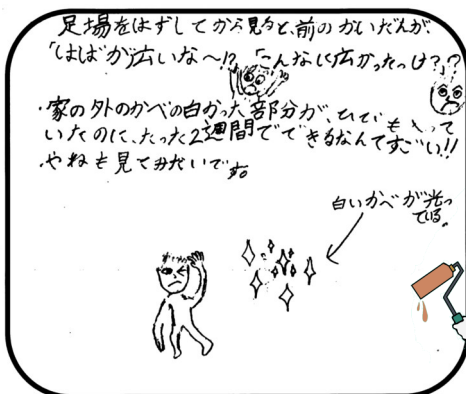


花まるリフォーム株式会社

「次も花まるさんをお願いしよう、
確かな依頼先と絆を持つと安心できて良いですね。」
三鷹市：浦上様



お孫さんから
こんなステキな感想をいただきました



なまえ（ニックネーム）
なまえの介

ねんれい
9 オ



このたび花まるリフォームさんをお願いしたのは、25年間悩まされ続けてきた“外壁ヒビ割れの恐怖”を救い、『安心感』を授けて下さったのが一番の決め手です。

建物外壁のあちこちにヒビ割れが発生、竣工9年目、次いで8年目と、何れも10年持たない間に再塗装せざるを得ない有り様でした。今回は二度目の塗装から8年目ですが、4年目辺りから早やヒビ割れが目立ち始めました。そうした折、リビング「花まるリフォーム」の記事が目が止まりました。『外壁塗装で失敗しないための業者選び』を初め折々の『季刊通信』に載せられた分かり易い解説記事は“この会社は本物らしいゾ”と思わせるに充分でした。そこで高橋社長に現地検分願ひ“ヒビ割れを防ぐには弾性下地剤の重ね厚塗りが有効”と、これまでの事業者が説明できなかった貴重な知恵をいただき、“花まるさんをお願いしよう”と確信致しました。

塗装に先立ち、雨水の滲み込みで腐食が進み白蟻被害も受けていた出窓の修理を担当してくださった若い大工さんは木工作・コーキング・モルタル塗りをこなす多能工振りを発揮されました。また、足場ご担当は狭く限られた地所の中で巧みに設計して足場を組み上げて下さいました。そして、素人の不躰な質問“ローラが届かない狭い壁面は刷毛で塗るのではないのですか”に嫌な顔一つせず順序立てて取組んでいる計画を丁寧に説明してくださった白鳥親方はじめ塗装担当の方々。正に、花まるリフォーム社で仕事を担う方々は本物の専門家集団だとの感を深く致しました。次も花まるさんをお願いしよう、確かな依頼先と絆を持つと安心できて良いですね。

※掲載の際にはお名前を載せてもよろしいでしょうか？ ☒ はい ☐ 名前はイニシャルにして欲しい

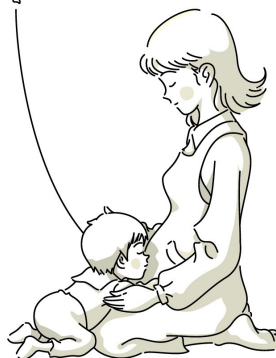
※市・区以降の町名・番地は見えないように加工致します

(お名前)

住所 〒 東京都 三鷹市 ■■■■■■

浦上 忠之

浦上様は、今までも大変熱心にお家のメンテナンスをしてこられたお客様です。前回の業者に満足できず新しい業者をお探しでした。結果、ご満足いただけた事、大変嬉しく感じました。





『お客様が納得されるまで、丁寧に説明する』姿勢が
決め手となりました。」

練馬区：N様

今回は、初めてのマイホーム外壁と屋根の塗り替えでした。
築20年になるため、さきさまリフォーム会社の訪問営業が頻繁にあって
いすれも信頼することができず、ネット検索で個人の塗装会社2社と
大手リフォーム会社1社に、調査と見積りをお願いしました。中でも花まるさんの
ホームページは、塗装工事について、知れたいし、また工事をするに当たって知っておか
なければいけなことが分かりやすく、ていねいに紹介されていて、非常に誠実な
印象を持ちました。また、見積りの調査にいらした高橋社長の「お客様が
納得されるまで、ていねいに説明する」姿勢が決め手となり、工事をお願いすること
になりました。

外壁の色決めでは、サンプルを参考に、納得行くまで検討を重ね、施工の際も
おどめのイメージを実現するために、職人さんがいろいろご苦労されたと聞いて
います。仕上がりは、存在感のある家に大変身し、非常に満足しています。

工事は、11月の2週間でしたが、天候にも恵まれて予定どおりに終了しました。
単身赴任のため、工事の進捗を直接確認することができませんでしたが、日々、
メールで施工中の写真を送っていただき、安心して工事を任せすることができ
ました。また家族からは、職人さんが、みなさん礼儀正しく、熱心に仕事をされて
いると、とても好印象でした。

高橋社長、工事をいただいた職人さん、ありがとうございました。

2014年 12月

※掲載の際にはお名前を載せてもよろしいでしょうか？ ☐ はい ☒ 名前はイニシャルにして欲

※市・区以降の町名・番地は見えないように加工致します

(ご住所) 〒

練馬区

(お名前)



N様、ありがとうございました。
花まるリフォーム

いざ外壁塗装をしようと思っても、業
者選びに迷われるお客様が多いです。
目に見える商品ではないので、信頼で
きえる事が一番大事だと思います。
「花まるリフォーム」では社員・職
人一同「お客様の話をよく聞く事」を
いつも心がけています。

また、施工中は、無料のメールでの画
像送信サービスを利用いただければ、
日々の工事の進捗具合も詳細に
チェックできます。

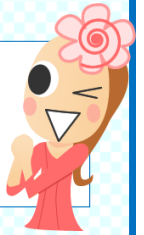
留守がちの方も安心ですよ(*^_^*)



花まるリフォーム株式会社

「塗り以外にも、経年劣化部分の修繕まで
まとめてお願い出来たので、とても安心できました。」

世田谷区：T様



この度は、夏から年末までという長い間でしたが、3カ所の防水工事と、ルーバー塗装、修繕をして頂き、大変ありがとうございました。

特に修繕のきっかけとなった雨漏りは、長い間原田箇所が分からず、ちょうど台風直前で困っていました。機転を利かせてまずは応急処置して頂いたおかげで、とても助かりました。

ルーバー塗装を以前別業社に頼んだ際には、雑な作業で塗料が落ちたりもしていました。今回は全てカバーで保護して頂き、とても丁寧に行ってくれて良かったです。

また、塗り以外にも、経年劣化部分の修繕までまとめてお願い出来たので、とても安心出来るようになりました。

天気や進捗を見ながら、夜間や休日にもご作業して頂き、色々ご提案・相談しながら臨機応変に最良の方法で工事が完了されました。

花まるさんにお願ひで大変満足しております

本当にありがとうございました。

2014年 12月

※掲載の際にはお名前を載せてもよろしいでしょうか？ ☐ はい ☒ 名前はイニシャルにし……

※市・区以降の町名・番地は見えないように加工致します

(ご住所) 〒

東京都世田谷区

(お名前)



T様、ありがとうございました。
花まるリフォーム



雨漏りや経年劣化の補修でご連絡いただくケースも多いです。

このような経験が必要な細かい工事を嫌がる業者もいるようですが、「花まるリフォーム」では、できる限りの最善を尽くして施工させていただいています。施工後の「お客様の笑顔」のために、塗装だけでなく、大工・板金・外構など様々な職人がチームワークで頑張ります。



花まるリフォーム株式会社

COMING
SOON

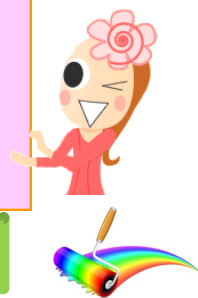
国土交通省から、来年3月までが期限の「省エネ住宅ポイント」制度が発表されました。「外壁塗装」ではありませんが、窓の結露にお悩みの方には「内窓工事」が該当いたします。詳細がわかり次第ホームページ等でお知らせいたします。ご利用ください！



ひょうたろう

彪太郎の塗装作業&道具辞典①

新人の高橋くんが、外壁塗装作業の工程と道具を
わかりやすくレポートしていきます。



第1回：養生(ようじょう)とは・・・

今回は、皆様のお家を塗装する前に行う作業である”養生”とその道具についてご紹介いたします。

塗装する前に行う「養生」。高いところから塗装する都合上、細かい塗料の雫が真下に飛び散ることを100%防ぐことはできません。塗料からおうちを保護する作業のことを”養生”といいます。1日かけて徹底的に行うことも多い大事な作業です。

外壁塗装の養生の際使う道具は、主にマスカー、ビニールロール、布テープになります。

・マスカーは、早い話が《布テープ付のビニールロール》で、布テープの部分貼り付けて広げるとあっという間に養生することができる優れたもので、外壁に問題なく貼りつく上、狭い場所にも貼りやすい為、照明や換気扇フードなどの細かい部分や、電線を巻くことも容易です。基本的にはこの道具を中心に養生を行うことになります。

・また、おうち廻りの敷地の床や広い下屋根、庭に生えた木などは《長さ200m巻きの緑色のビニール(ノーポリ)ロール》を使って養生をしています。床の養生はブルーシートや長めの布ものを使う場合もあります。これらと1階部分の基礎水切りに貼ったマスカーを組み合わせ隙間の無い完璧な養生に仕上げていきます。



▲マスカー



▲ビニールロール

▲手際よく養生をする
花まる職人・宮本親方



▲布テープ

はなまる通信 34号

平成27年2月10日発行
発行：花まるリフォーム(株)

花まるリフォーム(株)
〒157-0061
東京都世田谷区北烏山
7-26-18
営業時間9時～19時
(日・祝日は家族サービスのためお休みです)

電話 03-5888-4600
FAX 03-5888-4611
高橋代表携帯
090-9347-4614

電子メール
info@hanamaru-r.jp

花まるリフォームの
ホームページはこちら↓
<http://www.hanamaru-r.jp/>

・マスカーやシート同士を組み合わせる場合などに度々《細めの布テープ》を使います。場合によっては足場に固定して養生したり、インターホンなどの小さな部分を養生する際は布テープのみを巻いて養生を仕上げることもあり、養生の道具の中で最も自由度が高いことが特徴です。故に、職人さんの経験や技術が高ければ、芸術的とすら思えるほど工夫され洗礼された養生も生まれます。

ただ、これらの道具があれば誰にでもできる訳ではなく、例えば、塀と壁の間隔がおよそ40cmしかない場合などは、狭い場所で潜って養生し塗装することになり、潜る職人さん自身の体格も考慮しなければなりません。加えて、安全に素早く終える技量も必要です。入社当初、僕も職人さんの養生を手伝いましたが、細かい場所まで短時間で隙間なく養生していく職人さん達には遠く及ばず・・・^^；



職人さん達の“芸術的養生”に魅せられながら、道具の使い方を学んだのでした。(彪)

▲養生に穴を開け、窓を少しでも開けられるように配慮をしています。



▲丁寧な階段の養生